

日ロ極東学術シンポジウム・プログラム

日時：2010年12月4日（土）～5日（日）

場所：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール III（市バス京大正門前下車）

時間：10:00～17:00

主催：京都大学経済研究所・日ロ極東学術交流会

共催：北東アジア・アカデミックフォーラム

報 告

12月4日（土）

1. ミナーキル、パーヴェル・アレクサンドロヴィチ
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所長、アカデミー会員）
「北東アジア諸国における経済協力のメカニズム」
2. レンジン、オレグ・マールコヴィチ
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所副所長）
「ロシアとアジア太平洋地域における金融部門—金融危機後の傾向」
3. ヴラシュク、リュドミーラ・イヴァーノヴナ
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所・部長）
「2000－2008年における極東地域の経済成長の諸要因」
4. ポターニン、ミハイル・ミハイロヴィチ
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所・若手研究員）
「極東における大規模エネルギー資源プロジェクト：国際協力のポテンシャルと地域発展の諸問題」
5. ロマーノヴァ、オリガ・アレクサンドロヴナ
（ロシア科学アカデミー・ウラル支部・経済研究所主任研究員、教授）
「ウラル基幹部門発展の革新的要素」

討論予定者：溝端佐登史氏（京都大学）、雲和広氏（一橋大学）、堀江典生氏（富山大学）藤田整氏（大阪経済法科大学）、大津定美氏（大阪産業大学）

懇 親 会

18:00～

カフェレストラン「カンフォーラ」（京都大学本部構内）

12月5日(日)

1. タタルキン、アレクサンドル・イヴァーノヴィチ
(ロシア科学アカデミー・ウラル支部・経済研究所長、アカデミー会員)
「社会の知的資源と再生産過程におけるその役割」
2. アフォーニン、ボリス・ミハイロヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所、上級研究員)
「ロ日関係における文化と人間関係の役割」
3. ガリャーモヴァ、リュドミーラ・イヴァーノヴナ
(ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所、部長)
「ロシア極東地域における日本漁業の発展の特徴(19世紀末～20世紀初頭)」
4. コジェヴニコフ、ヴラジーミル・ヴァシリエヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所、部長)
「21世紀ロシアの対日政策と日本の対ロ政策：比較研究」
5. ラーリナ、リーリヤ・リヴォーヴナ
(ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所、上級研究員)
「ロシア極東は隣接する世界を幾度も観察する：誰がわれわれに親しみを持ち、誰をわれわれが恐れ、誰と協力することになるのか(2010年のアンケート調査より)」

討論予定者：宮本勝浩氏(関西大学)、藤本和貴夫氏(大阪経済法科大学)、阪本秀昭氏(天理大学)、伊賀上菜穂氏(中央大学)、木村崇氏(京都大学)五十嵐徳子氏(天理大学)

すべての報告・討論は日本語とロシア語に通訳されます。

報告の順序が入れ替わる場合があります。